

西館5階 ワークプレイス改善の取組

健康福祉部福祉長寿局
(長寿政策課・介護保険課・経理調整)



なぜ実施するのか？(コンセプト)

上位目的

効率的に働く環境を整備し、県民サービスの向上を図る

目的

“あかるい”職場環境づくり

目標

ワークプレイス改善を実施する
(KG:令和2年1月中に新オフィスで業務開始)

課題

“あかるい”とは？

- ①コミュニケーションの醸成による活気のある環境…「明るい」
- ②書類削減やレイアウトの工夫による職員が気軽に動ける環境…「あ、軽い！」

①書類の整理

②執務環境の改善

③コミュニケーションの形成

改善策

重複している資料を廃棄

書棚を班ごとにまとめる

打合せスペースと執務室の仕分け

安全性の確保①(配線モール)

打合せスペースを増やす

座席の配置を工夫する

電子化を進める(電子決裁)

書類を増やさない運用を考える

電話を使いやすくする

安全性の確保②(動線の確保)

臨機応変に配置が変えられる

収納スペースを確保する

職場の「5S」を遵守する

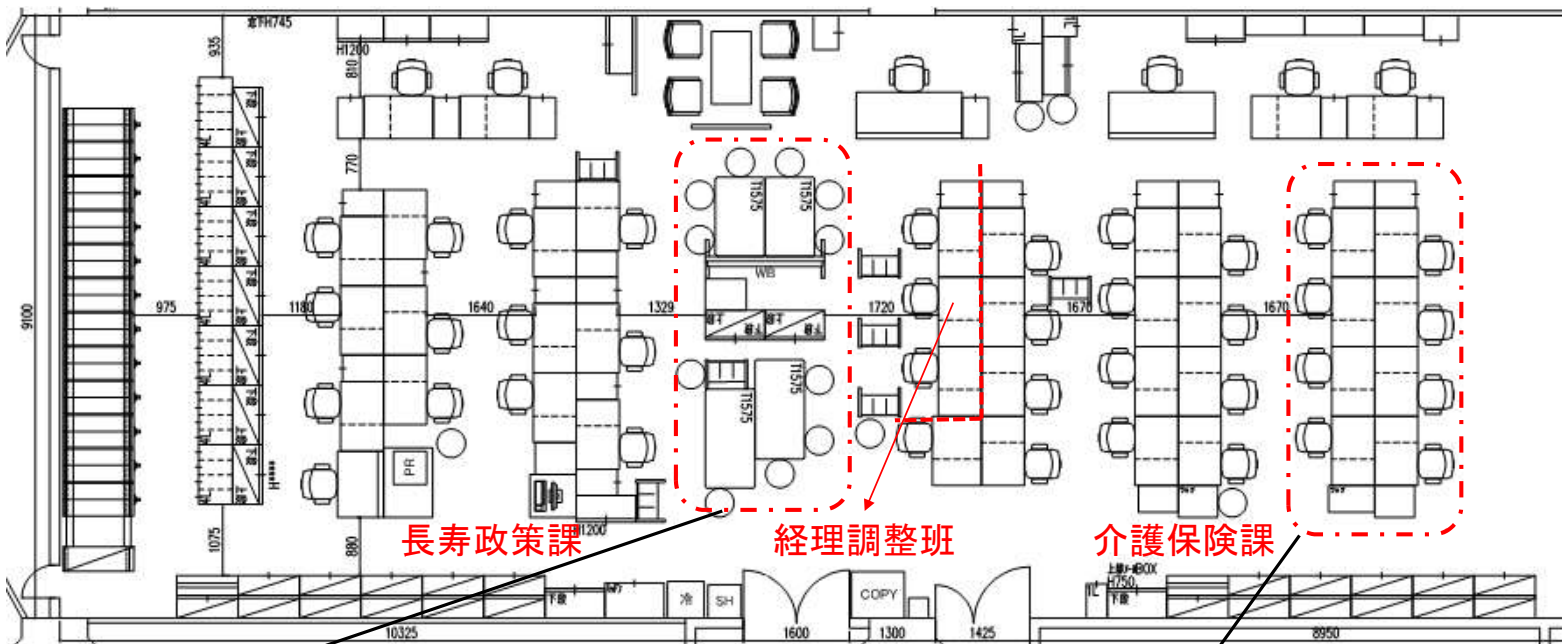
KPI

机上・机周りの書類量を3割削減

「職場環境向上委員会(仮称)」を2ヶ月毎実施

R2年1月にレイアウト変更

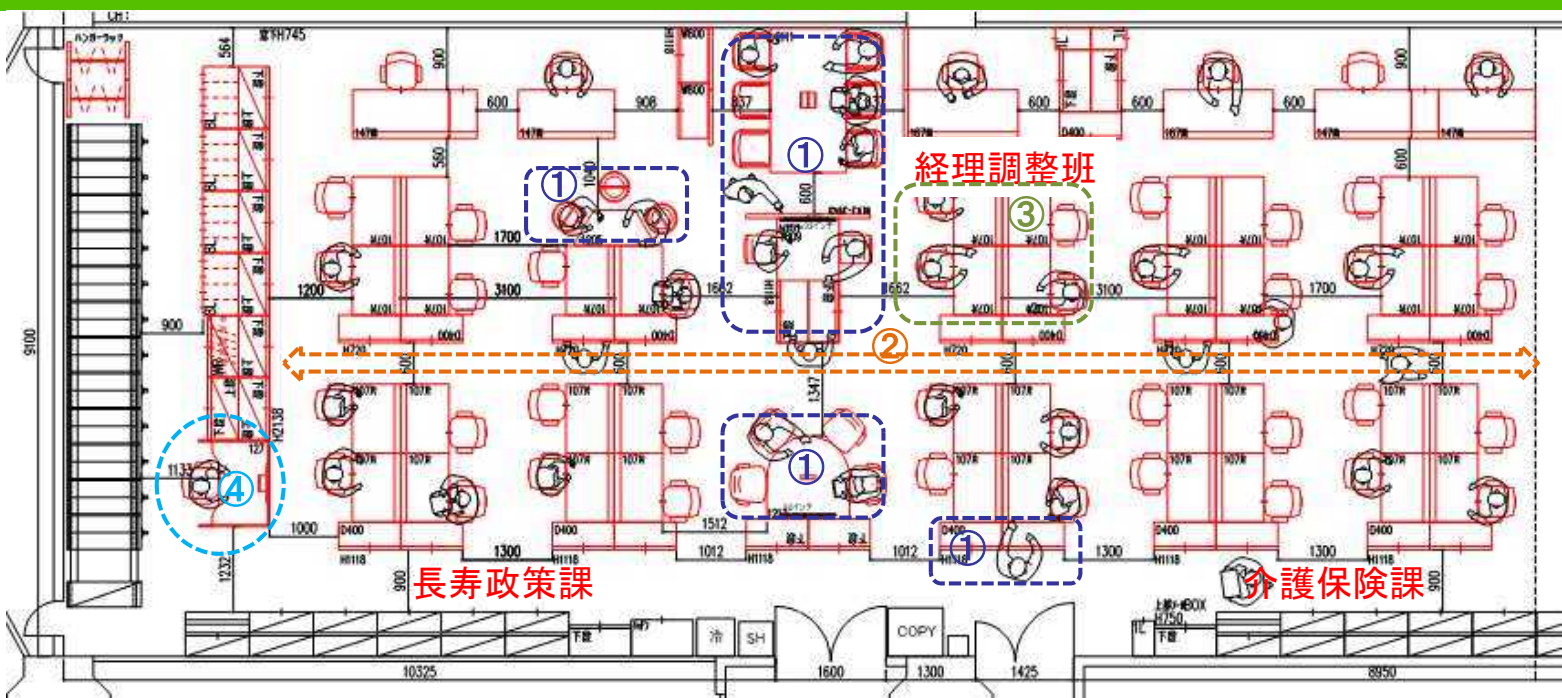
改善前レイアウト



職員数44人に対して、執務室内での打合せ場所はここだけ。
さらに書類で打合せデスクが埋め尽くされており利用が困難な状況。

4人が1列に並ぶ「年功序列型」の配置。
廊下に近い職員と上司との距離が遠く、気軽に相談しづらい。

レイアウト見直し後



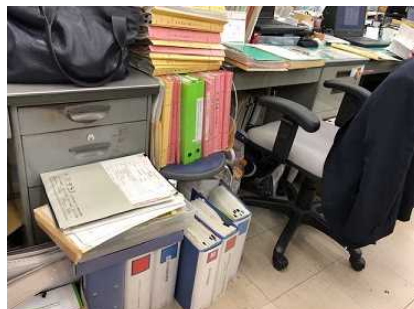
- 【全体】両課とも固定席を採用。机はフリーデスク(4人で一つの机)とし、今後のフレアレス化などの環境変化にも柔軟に対応
- 【特徴】①立ち会議を含め打合せ場所を増設。また、4人1シマとしたことで簡易な打合せはどこでも可能に
- ②中央に動線を設け、課内移動がスムーズに
- ③それまで介護保険課と同じシマだった経理調整班を一つのシマとし、班内で相談しやすい体制を構築
- ④事務集中スペースを新設し、作業に集中したい時いつでも利用可能

実施前の職場の様子



↑ 介護保険課 ↓

長寿政策課 ↓



←書類が溢れる足下

書類が溢れる
机上や通路 ↓



←打合せできない打合せスペース

<ワークショップを通じた課題の洗い出し>

- ★書類が多い(保存年限を過ぎても残っている、班ごとまとまっていない、収納スペースがない、電子保管に移行してほしい……)
- ★打合せスペースが少ない(打合せ場所に物が置いてあって使いづらい、座席が一行のため話づらい、立って打合せできるスペースがほしい……)
- ★上司と相談しにくい(場所が遠いため相談しづらい、パソコンを使いながら上司を相談したい……)

新オフィス



↑ 長寿政策課側から ↓

↓ 打合せスペース ↓



↑ 介護保険課側から ↓

↓ 局長席周辺 ↓

